

◆◆◆◆◆ 地域おこし協力隊活動レポート ◆◆◆◆◆

地域おこし協力隊とは、大都市圏に住んでいた方が、地方に移住し、地域の活性化を図るとともにその地での自立定住を目指す取り組みです。協力隊員の紹介、活動内容等をご紹介します。

vol.02 (担当) 北筋 史子さん

長瀬町のみなさん、こんにちは！

地域おこし協力隊の『北筋史子』です。今日はこの場をお借りして私の自己紹介をさせて頂ければと思います。どうぞよろしくお願い致します♪

生まれは京都府で、父の転勤の影響で何度か引っ越しを経験し主に西日本エリアで育ちました！その後北米カナダで4年間ほど生活をした後に、昨年10月に実家のある広島県からここ長瀬町へやってきました。そんな移住歴半年のまだまだまよっこ長瀬住民です。

実は私、移住するまで長瀬町には1度も来たことがなかったのですが、町の写真に一目惚れをして、「この町に住みたい！」と強く思った事がきっかけとなり、引っ越してきてしまいました。

そんな”ビビビっ”と運命を感じた長瀬で約半年間生活してみて、新米の私が改めて「ああ、長瀬っていいな～」と感じる事は、

- ・視力が良くない私の目にすらもハッキリと写る「満点の星空」
- ・思いっきり深呼吸したくなるような「新鮮な空気」
- ・まるで自然の目覚まし時計のような「小鳥のさえずり」



日常の些細な瞬間に大感動しております！！

移住者として感じる長瀬での日々の暮らしのコト、小さな発見をメモを取るかのように発信出来ればと思い、YouTube、ブログ、インスタグラムでゆるりと発信しております。お時間の許す時にでも「田舎暮らしMemo」で検索して頂ければ幸いです。

少しずつ長瀬での暮らしにも慣れてきて、たまにお化粧品もせずにメガネ姿で町を散策しておりますが、「あれ？あの人新人移住者の…」なんてお気づきの時には是非お声がけくださいね！



今月のいいとこ長瀬

「長瀬町の石仏群 がスキ！」

長瀬町には石仏群が散在しています。その中で代表的なものが「下破崩石仏五体」と「高德寺参道(旧道)入口の庚申塔群六基」であり住時の庶民の暮らしに思いを巡らせることのできる貴重な財産であると思います。(O・Tさん)

「編集者コメント」

それぞれの石仏群は大字矢那瀬地内にあり、江戸時代の中期から終わり頃にかけて作られているそうです。

「下破崩石仏五体」は急崖狭隘な難所に当時の村人が旅の安全や悪病侵入を防ぐ祈りを込めて建てたそうで、元は長瀬町と寄居町との境にありましたが、道路と秩父鉄道の開通などのため、現在の踏切脇に移されました。

「高德寺参道(旧道)入口の庚申塔群六基」は、六基ある石仏は大きさや台座の質が見事で、掘ってある字の深さや、彫刻などからそれぞれの石仏一体一体に信仰の深さがしのばれるとのこと。

町内では、大きな石仏群から小さな石仏まで、様々な石仏を見かけますね。皆さんも、お近くの石仏に目を留めて、由緒などを調べてみてはいかがでしょうか。

身近にある温故知新な財産は、長瀬町のいいとこ！

※外出の際は、マスクの着用とソーシャルディスタンスをしましょう！

